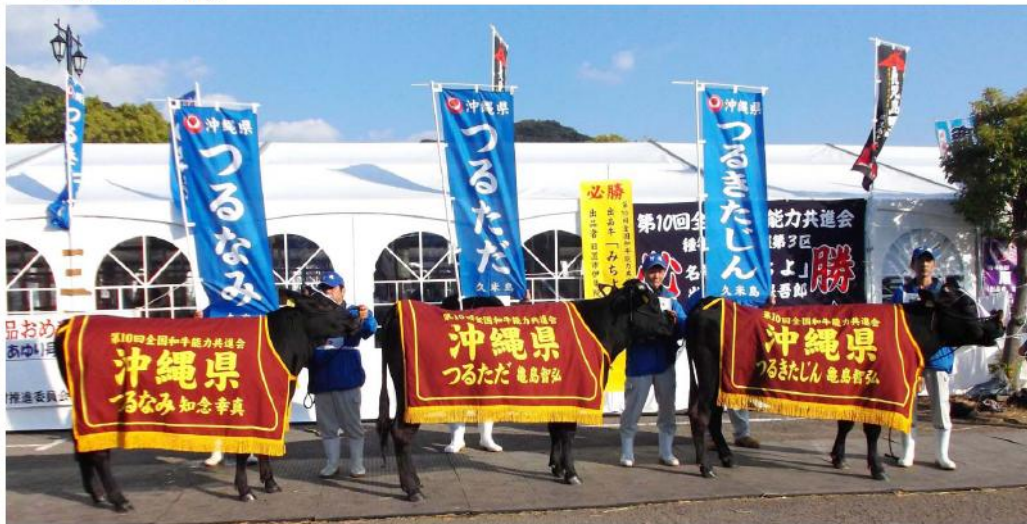


第6区で優等5席に入賞した久米島町の3頭。右から母、娘、孫娘（県家畜改良協会提供）



久米島和牛3頭 優等5席

全国共進会で県勢最高位

国内最大の和牛品評会「第10回全国和牛能力共進会」で、母、娘、孫娘の3代にわたる品種改良の成果を競う第6区(高等登録群)に県から初挑戦の久米島町の3頭が、県勢最高位の優等5席に入賞した。3頭セットで出品する第8区では沖縄市と本部

一方、枝肉の品質を競う部門では、第9区(去勢肥育牛)で八重瀬町のJAおきなわ東風平肥育農場の出品牛が優等11席、本部町の牛が2等となった。

た。全部門を通して県勢の過去最高の成績となった。成績は優等、1等、2等の順で選ばれる。第3区(若雌の2)は久米島町の牛が優等14席、第2区(若雌の1)は伊江村の牛が優等15席に入った。

町(久米島)の牛が1等に入った。今大会は10月25〜29日に長崎県で開催した。県家畜改良協会の赤嶺雅敏事務局長は「改良技術への評価は全国に対する県内和牛のPRになる。今後も県主体で連携を深めていきたい」と話した。

